

⑥⑱長良古津橋線

路線の概要

現在の計画

- 長良古津橋線は、昭和21年の戦災復興都市計画において岐阜市中心部北部と東部市街地を結ぶ東西方向の幹線街路として決定されました。
- 現在は長良福光中町～長良古津池之尻を起終点とし、計画延長4,980m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。



見直しの理由・内容

見直しの理由

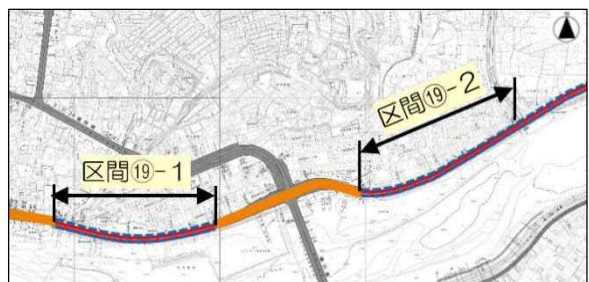
区間⑥ 計画の廃止〈現道幅員6～10m〉

- 将来の自動車交通量の減少により、当区間を整備しなくても周辺の主要地方道岐阜美濃線バイパスを代替ルートとすることで、交通処理が可能と考えます。



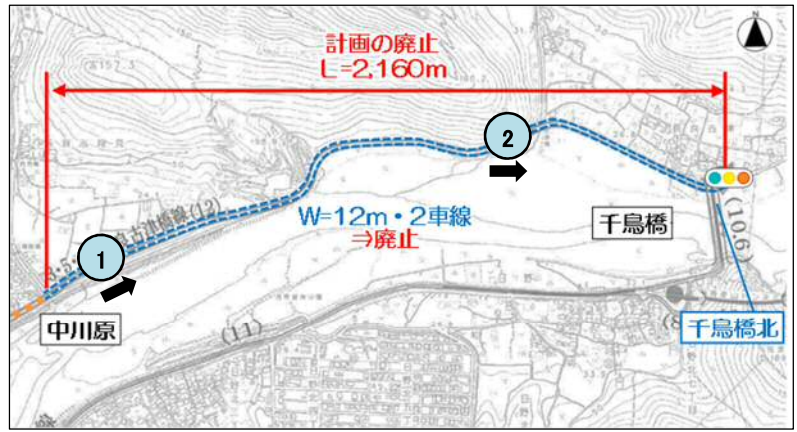
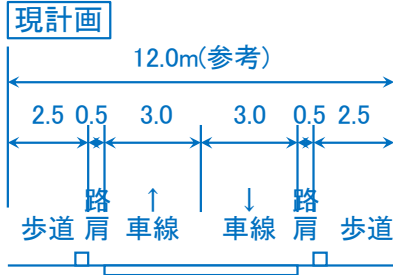
区間⑱ 計画幅員の縮小〈現道幅員へ変更〉

- 両側歩道で計画されていますが、現在の歩道利用状況（片側歩道）や将来の沿道土地利用などにより、片側歩道で機能を果たせると考えます。



道路断面図 (参考)

区間⑥ 計画幅員 12m(2車線)
⇒ 計画の廃止



区間⑨ 12m(2車線) ⇒ 9~10m(2車線)

